



2024年3月期第2四半期決算補足資料

1. 24/3期 第2四半期実績

2. 24/3期 業績予想

24/3期 第2四半期 実績

441.1億円

前年同期比

十3.6% (▲5.8億円) 十15.5億円

14年連続増収・13連続過去最高。

1000万点への品揃え拡大とECで研究開発需要を取り込む。サービスも拡大。

■営業利益

49.7億円

前年同期比

▲3.5億円

柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。 既存販管費抑制するも、新物流センター「阪神DC」開設費用分ビハインドとなった。

■当期純利益

35.5億円

前年同期比

1 計画比 計画比 (+2.5億円)

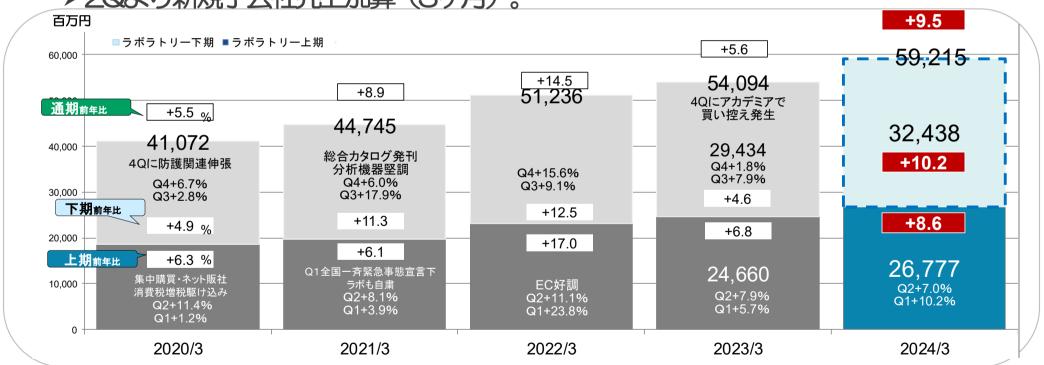
▲ 1.3億円

267.8億円

前年同期比 +8.6% (+5.0億円) +21.1億円

➤ ECチャネル+12億円、プロダクト軸ではWEB単独掲載品で+11億円。

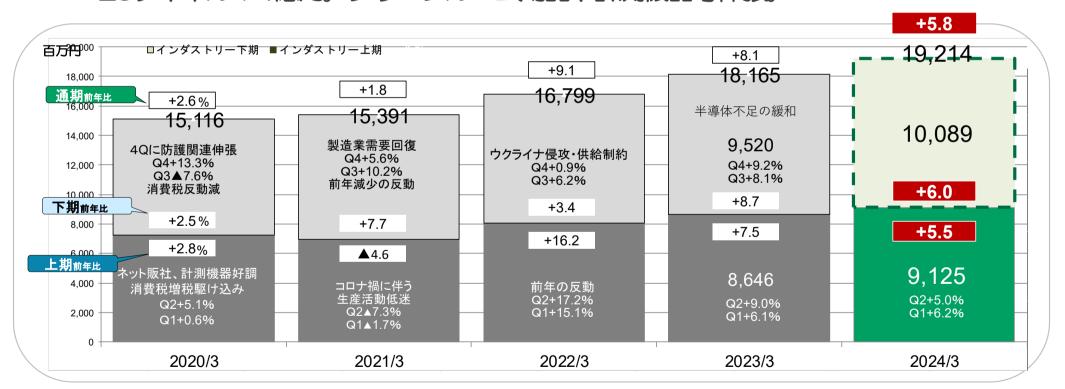
▶2Qより新規子会社売上加算(3ヶ月)。



91.2億円

前年同期比

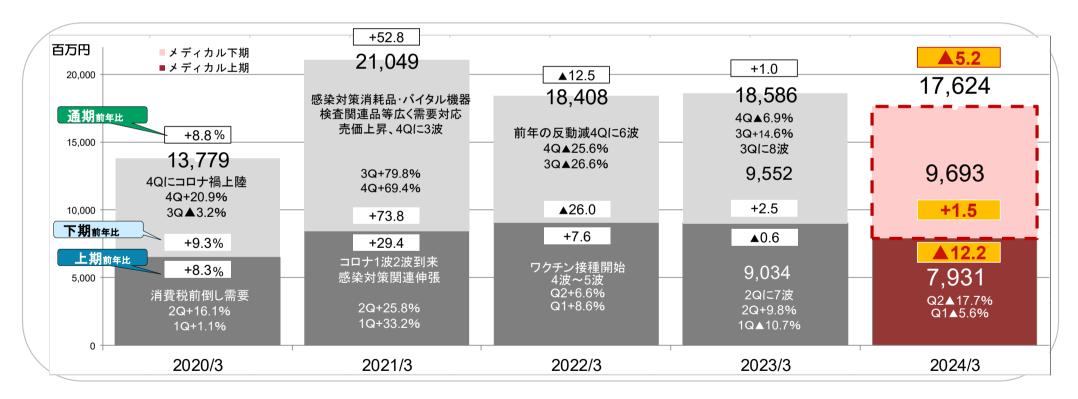
▶ECチャネル+4億円。クリーンルーム用品や計測機器等伸張。



79.3億円

前年同期比 12.2% (計画片億円) ▲11.0億円

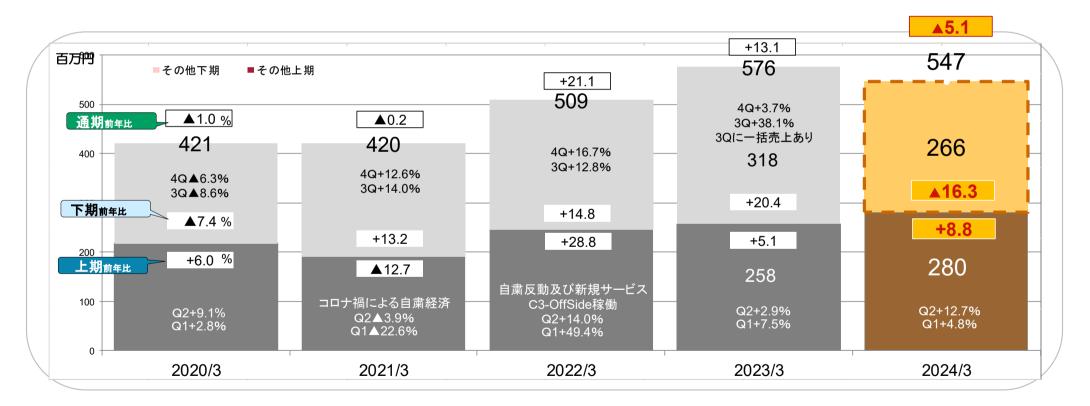
> コロナ5類移行、7波反動、政府備蓄放出等で感染対策用品の調整局面。 開業案件は増加傾向。



2.8億円

前年同期比 +8.8% (▲0.3億円) +0.2億円

▶ 子会社トライアンフ21が試薬や研究用物品の購買マッチングをする購買代行システムを運用し手数料売上として計上



営業利益増減理由(粗利)

実績

▮売上総利益

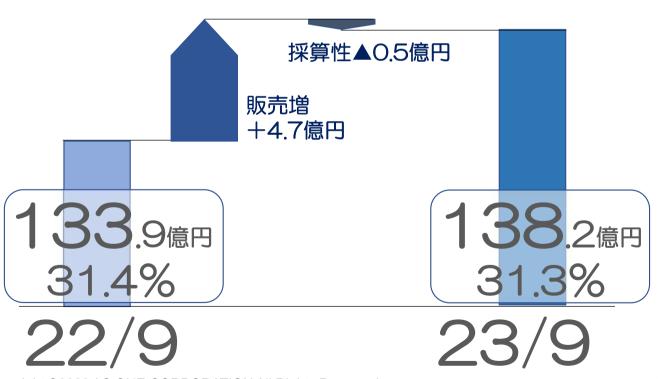
138.2億円

前年同期比 + 3.2%

計画比 (▲2.2億円)

+4.3億円

▶柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。



四半 粗利		21/3 (コロナ福	22/3 下での価格変	23/3 動異常値)	24/3
10	Ç	31.3%	30.7%	31.4%	31.4%
20	Q	31.0%	26.8%	31.5%	31.2%
30	Ç	32.9%	30.1%	31.3%	_
40	Q	31.7%	29.8%	30.7%	_

(単体ベース)

PB·輸入品実績

(前年同期比)

売上シェア 36.1%(▲0.8p)

粗利率 +0.8p (前年同期比) 粗利額ベースもプラス 新規子会社 カスタムブランド 別途+0.7p寄与 (対月次)

別途+0.3p寄与 (対月次)

▮販管費

88.4億円

➤阪神DC舞設にて約4億円及び子会社増え1億増。計画比では超送コスト·庫内作業費を抑制。

	2022/3	2/3 2023/3 計画比 前年同期比		期比	(単位:百万円)			
	2022/3	2023/3	_	増減額		増減額	増減率	補足
販 管 費	8,066	8,847		▲ 558	▲ 5.9%	+781	+9.7%	阪神DC開設にて3.9億円負担(+4.8%相当) 7月より子会社増にて+1.1億円(+1.4%相当)
広告宣伝費	190	202		▲ 83	▲29.3%	+11	+6.0%	WEB広告強化。
うちカタログ費	26	7		▲ 14	▲ 64.9%	▲ 18	▲69.5%	WLDMG 33(10)
人件費	2,904	3,058		▲ 28	▲0.9%	+153	+5.3%	期中平均人数前年676→702人(+26人)
うち退職給付関連	51	55		▲ 9	▲ 13.9%	4	+8.3%	
運賃・倉庫作業料	2,304	2,269		▲ 285	▲11.2%	▲ 35	▲1.5%	配送方法多様化でコストダウン。
研究開発費	19	4		▲ 11	▲ 71.0%	▲ 14	▲ 74.9%	PB品開発費用
不動産賃借料	649	1,000		5	0.6%	351	+54.0%	阪神DC+3.O億円
減価償却費	415	434		2	0.7%	19	+4.8%	阪神DC+0.1億円
ソフト償却費	211	223		6	2.9%	+12	+5.7%	
その他	1,369	1,652		▲ 163	▲9.0%	+282		前年比:阪神DC、行動関連費、手数料、修繕費他増 計画比:雑費、光熱費、行動関連費、手数料等抑制

- ➤拡大中の品揃えとECとの相乗効果が売上寄与。
- ▶メディカルで反動減を見るも、子会社加算やラボ・インダストリー伸張でカバー。

	2022 金額	<u>2/9</u> 構成比	2023 金額	3/9	<u>計画</u> 増減額	<u>比</u> 増減率	前年同期減額	期比增減率	(単位:百万円) 補足
売上高	42,597	100.0%	44,113	1	<u>▲ 576</u>		+1,515		新連結子会社3ヶ月加算 (月次シェア1.0%程度)
売上総利益	13,395	31.4%	13,822	31.3%	▲ 223	▲ 0.1P	+426	▲ 0.1p	インフレ・円安等の調達コストの 上昇は価格反映で対応。
営業利益	5,329	12.5%	4,974	11.3%	+334	+7.2%	▲ 354	▲6.7%	前年比:阪神DC開設でコストUP 計画比:配送費・倉庫作業費等抑制
経常利益	5,330	12.5%	5,167	11.7%	+337	+7.0%	▲ 162	▲3.1%	前年比:為替差損の減少等
特別損益	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	-	
四半期純利益四半期純利益(円)	3,680 98.5	V-8554	3,550 98.1		+250 +7		▲ 129 ▲ 0.4		

24年3月期業績予想

環境認識

考慮事項		環境認識	ラボ・イン ダストリー	メディカル
DX潮流	ポジティブ	顧客企業のデジタル購買(EC)利用拡大。医療機関においても浸透の兆し。	0	0
GX•BX	ポジティブ	各分野において、脱炭素イノベーションに向けた技術開発・研究開発の活発化。 バイオ技術に基づく社会課題の解決を経団連が後押し。研究開発の活発化。	0	_ O
インフレ	ポジティブ	インバウンド向け製品の生産回復。設備投資拡大見通し。国内生産回帰。次年度以降半導体工場目白押し。 インフレ圧力による低価格販売競争の軟化	0	_ O
• 円安	ネガティブ	欧米金融当局の沈静化対策による世界経済減速。輸出産業への影響。 消費者物価上昇に伴う消費減退リスク 仕入サイドへの影響 輸入品仕入れコストの上昇。	(官需や多業種分散取 引によるリスク分散)	
人手不足	ポジティブ ネガティブ	研究シミュレーション・研究用ロボット・介護ロボット等新たなソリューション需要の拡大。 物流コストの上昇	(配達便・ネコポス・	0
コロナ罹患 5類移行	ポジティブ	サービス産業が活性化し、経済活動にプラス効果。 手術・一般診療・新規開業需要の復活。コロナ診療医療機関の拡大。	O —	_ O
	ネガティブ	過年度の設備品・重症化リスク高い医療介護施設以外の感染対策用品の需要は減少。	(織り込み済)	(織り込み済・ラ インナップと利便 性で新たな取り込 みを行う)

前提条件

- →GX・BXの潮流が研究開発を後押しし、DX潮流がEC利用を加速。
- ▶ 自治体備蓄放出、感染対策用品需要減の一方、一般診療・手術・開業件数回復。
- ▶ 上期不足売上は、海外分為替見直しな新規子会社や販権取得装置加算でリカバー。
- ➤ 阪神DC設置で一時的コストアップも、当面の成長を支える物流基盤整う。

▮売上高

966.0億円

前年同期比 +5.7% +51.8億円

■営業利益

103.3億円

前年同期比 ▲ 9.4% ▲ 1 0.6億円

■当期純利益

73.5億円

前年同期比

▲9.4%

▲7.6億円

24/3期 分野別通期売上見通し 見通し

単位:百万円

2024/3期	上期 実績	計画比	伸率 (%)	前年 同期比	伸率 (%)	下期 計画	期初計画比	伸率 (%)	前年 同期比	伸率 (%)	通期	期初 計画比	伸率 (%)	前年 同期比	伸率 (%)
ラボラト	26,777	+496	% +1.9	+2,116	% +8.6	32,438	+656	% +1.1	+3,003	% +10.2	59,215	+1,152	% +2.0	+5,120	% +9.5
リー		品揃え・サービス・ECの優位性がオーガニックに成長を促進。 中国分為替見直し、新規連結子会社及び販権取得ドロップレット分析解析装置が加算され下期底上げ。													
インダス	9,125	+31	% +0.3	+479	% +5.5	10,088	137	% +0.7	+569	% +6.0	19,214	+169	% +0.9	+1,048	% +5.8
トリー	非製造業	非製造業活動活発化、挽回生産及び国内生産回帰。稼働率拡大。													
メディカ	7,930	▲1,101	% ▲12.2	▲1,103	% ▲12.2	9,693	▲ 208	% ▲1.1	+141	% +1.5	17,624	▲1,310	% ▲6.9	▲ 961	% ▲ 5.2
ル		コロナ禍の反動及び政府・自治体の備蓄放出が続くも、年明けには前年のコロナ波が一巡。 一般診療・手術・新規開業件数増加傾向。													
その他	280	▲2	% ▲1.0	+22	% +8.8	266	▲ 8	% ▲1.5	▲ 51	% ▲16.3	546	▲ 11	% ▲2.0	▲29	% ▲ 5.1
	前下期0)一括計	†上分	減少す	るも、	購買代行	システ	ム利用	用先増	でベース	ス売上は拡	大。			
合計	44,113	▲ 576	% ▲1.3	+1,515	% +3.6	52,486	+576	% +0.6	+3,662	% +7.5	96,600	±0	% ±0.	+5,178	% 十5.7

中計施策進捗・見通し

見通し

➤ ECは、アカウント拡大及び品揃え拡充による既存先深耕を図る。 単位:百万円

	22/3 実績	23/3 実績	伸率 (%)	24/3 上実績	前年 同期比	伸率 (% <i>)</i>	24/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	24/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
ocean	10,292	11,649	+13.2	6,165	+753	+13.9	7,149	+910	+14.6	13,314	+1,664	+14.3
接続数	249社	285社	_	311社	+53	+20.5	_	_	_	323社	+38社	_
Wave	443	773	+74.6	569	+272	+92.1	969	+491	+103.0	1,538	+765	+98.8
稼働ユーザー数 アカウント数	1,622 10,284 社	2,900 13,878 社	+78.8 +34.9	3,615 15,268 社	+1,351 +2,803 社	+59.7 +22.5	_	_	Ξ	— 17,000 社	— +3,122 社	+22.4
AXE L Shop	1,939	2,032	+4.8	1,010	+38	+3.9	1,243	+183	+17.3	2,253	+221	+10.9
ネット通販	7,663	9,620	+25.5	5,153	+586	+12.8	5,941	+887	+17.6	11,094	+1,474	+15.3
EC計	20,338	24,075	+18.4	12,898	1,651	+14.7	15,302	+2,472	+19.3	28,200	+4,124	+17.1

> 中国は1-12月計画。期初計画の為替見直しで下期加算。

中国	3,148	3,334	+5.9	1,569	+62	+4.1	2,169	+341	+18.7	3,738	403	+12.1
その他海外	1,437	1,552	+8.0	758	+30	+4.2	1,002	+177	+21.5	1,760	208	+13.4
海外計	4,585	4,887	+6.6	2,327	93	+4.2	3,172	518	+19.5	5,499	611	+12.5

※ECはLB/ID/MDそれぞれに売上計上されます。海外はLBに売上計上されます。

主要施策プロダクト軸進捗・見通し 見通し

- ▶品揃えの拡大は、確実に売上に貢献中。
- > 9年前7万点だった品揃えは1000万点達成。さらに拡大を目指す。
- ▶ サービス売上も2桁の伸び。レンタル・校正は30%超伸張

	22/3	23/3	伸率	24/3	前年	伸率	24/3	前年	伸率	24/3	前年	伸率
	実績	実績	(%)	上実績	同期比	(%)	下計画	同期比	(%)	年計画	同期比	(%)
品揃え	万点 630	万点 900	% +42.9	万点 1,000	万点 +270	% +37.7	_	-	_	達成済み	万点 + <i>∞</i>	_
WEB単独掲載	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
品売上高	9,385	12,143	+29.4	6,722	+1,288	+23.7	8,090	+1,381	+20.6	14,812	+2,669	+22.0
サービス売上	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
	2,597	2,977	+14.6	1,569	+235	+17.6	1,823	+180	+11.0	3,393	+415	+14.0

※WEB単独商品売上及びサービス売上はLB/ID/MDそれぞれに売上計上します。

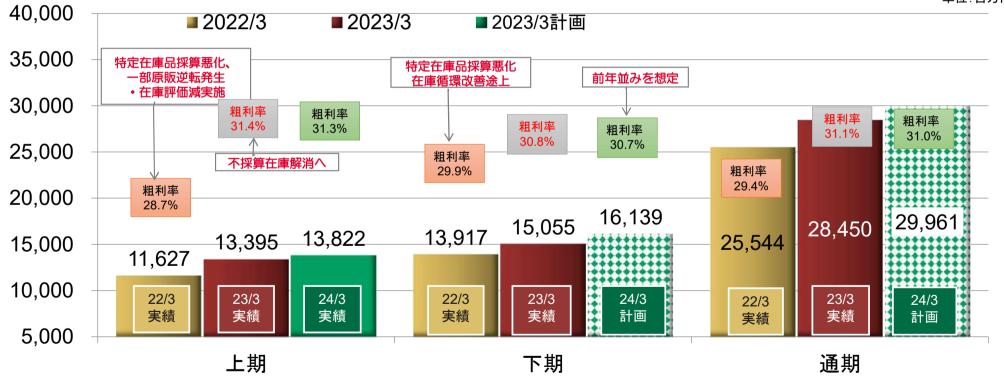
■売上総利益

299.6億円

前年同期比 **十5.3% 十15.**1億円

▶ 為替変動も含め、原価に呼応した機動的プライシング継続。

単位:百万円



■販管費

196.3億円

前年比 十15.1%

十25.7億円

➤阪神DC開設コスト9億円、子会社第3億円、人件費6億円等にて26億円増見込み。

		2023/3	2024/3	前年比増減額		通期前	近年比	(単位:百万円)
		実績	予想	上期 実績	下期 計画	増減額	増減率	補 足
Į,	反管費	17,053	19,630	+781	+1,795	+2,576	+15.1%	新規連結子会社分3.4億円加算 (9か月)
	広告宣伝費	586	684	+11	+86	+98	+16.8%	WEB広告強化。設備カタログ、医療総
	うちカタログ費	219	193	▲ 18	▲ 7	▲ 25	▲11.7%	合カタログ、中国カタログ等発刊
	人件費	6,211	6,821	+153	+456	+610	+9.8%	賃上げ継続。採用も拡大。連結子会社増 9末人員676→715人(+39人)
_	うち退職給付関連	203	131	4	▲ 75	▲ 71	▲35.2%	エンゲージメント(周年行事)
	運賃・倉庫作業料	4,664	4,960	▲ 35	+331	+295	+6.3%	入出荷量増加+単価値上がり想定
١.	研究開発費	25	35	▲ 14	+24	+10	+42.7%	医療用総合カタログ向け PB品など
	不動産賃借料	1,304	1,998	351	342	693	+53.2%	阪神DC賃借料増(4月から)
	減価償却費	852	950	19	+77	+97	+11.4%	固定資産投資予定13億円
	ソフト償却費	448	486	+12	+25	+37	+8.4%	 T投資予定8億円
	その他	2,961	3,693	+282	+449	+732	+24.7%	行動費正常化、光熱費、設備修繕、備 品消耗品費、手数料等(含む阪神DC)

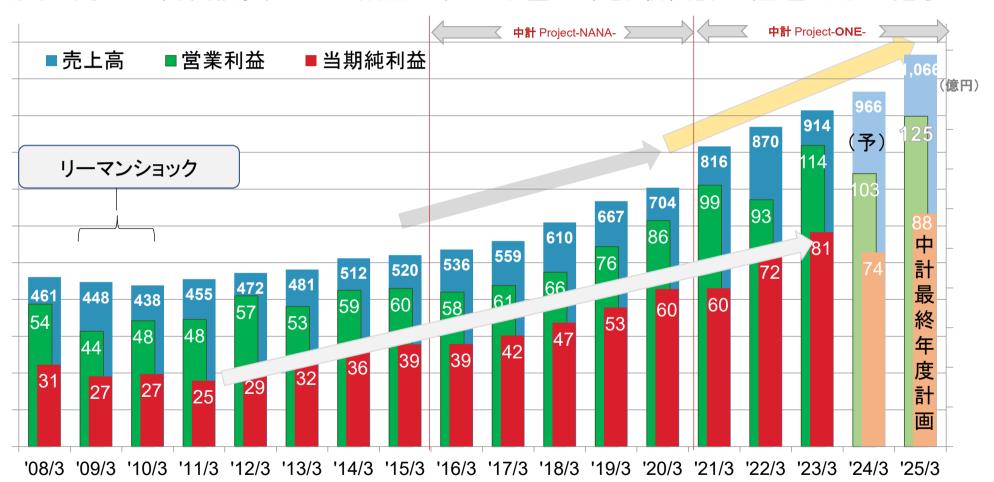
24/3期 予想損益計算書

見通し

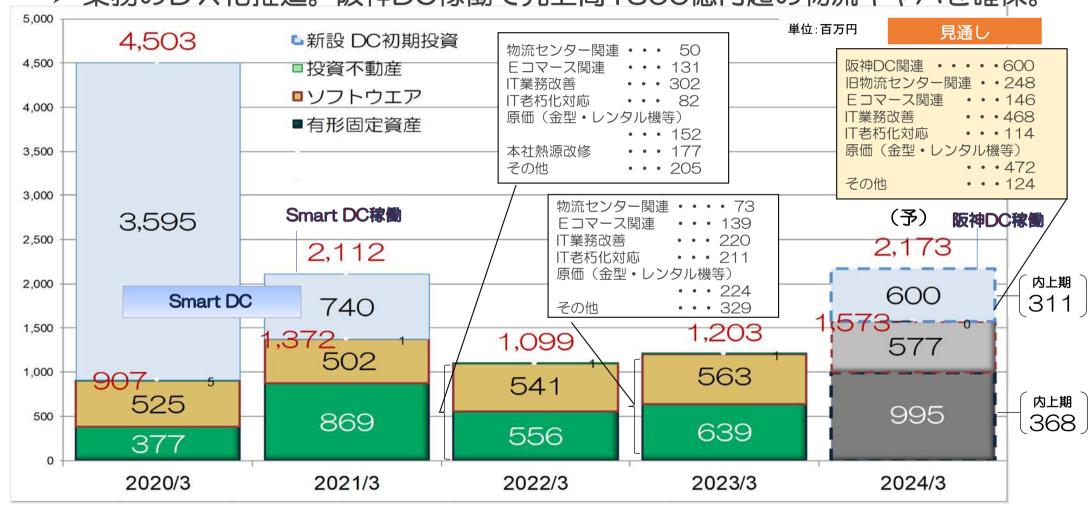
▶将来への物流基盤整備のため一時的に減益見通しなるも、売上成長にて次年度以降コスト吸収予定。

	2023/	3実績	2024/3	3予想	前年比	増減額	ı	通期前年比		(単位:百万円)
	金額	売上比	金額	売上比	上期実績	下期計画		増減額		補足
売上高	91,421	100.0%	96,600	100.0%	+1,515	+3,662		+5,178	+5.7%	前期:上期+5.3%下期+5.0% 当期:上期+3.6%下期+7.5% (下期はフルに新規子会社損益が加算)
売上総利益	28,450	31.1%	29,960	31.0%	+426	+1,083		+1,510	(O.1p)	調達価格アップは平行して売価に反映
70111111111111111111111111111111111111						.,		.,.,.	, , , ,	前期:粗利率上期31.4%+下期30.8% 当期:粗利率上期31.3%+下期30.7%
営業利益	11,396	12.5%	10,330	10.7%	▲ 354	▲ 711		▲ 1,066	▲9.4%	阪神DC開設9億、人件費增6億他
										阪神DC開設等に伴う一時的減益
経常利益	11,637	12.7%	10,710	11.1%	▲ 162	▲ 764		▲ 927	▲8.0%	
特別損益	30	0.0%	0	0.0%	0	▲ 30		▲ 30	_	前期:政策保有株上場時の売り出し
当期純利益	8,112	8.9%	7,350	7.6%	▲ 129	▲ 633		▲ 762	▲9.4%	阪神DC開設等に伴う一時的減益
当期純利益/1株(円)	218.0	09	203.0	4	▲ O	▲ 14.62		▲ 15	▲6.9%	

> 成長に向けた物流投資で一旦減益も、力を蓄え中計最終計画値達成を目指す



➤ 業務のDX化推進。阪神DC稼働で売上高1300億円超の物流キャパを確保。



➤阪神 DC開設と I T投資で微増。

単位:百万円



決算概要・中期経営計画・ビジネスモデル等にご質問がございましたらこちらまでご連絡ください。

広報 I R部 06-6447-8821 asone_ir@so.as-1.co.jp

中期経営計画2022年5月修正版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/118558/00.pdf ビジネスモデル解説資料2023年9月改定版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym8/133377/00.pdf